

デジタル技工の本質



藤松 剛

技工操作でデジタルに置換できる工程に関しては、技工作業時間が短縮されることで大きな利点となるとともに日常臨床が大きく変化する。デジタル機器は全てにおいて万能ではないものの、ツールとして適正に扱うことでその機能が発揮される。しかし逆に考えれば、各機器が持つ独自の知識を理解しないと、そのポテンシャルを最大限に発揮することは難しいと考えている。

一方、近年のデジタルツールの急激な進化に伴い、各機器に関する情報が多岐に及んでいるため、歯科クリニックや歯科技工所において、導入を検討している設備に対しての選択基準、ならびにその活用方法の判断基準が不明分であるのと同時に、各機器の知識の習得なしには難しいと考えている。

そこで、本講演では実際の技工作業におけるデジタルワークフローをベースとして、デジタル技工の本質について解説したい。

【略歴】

1998年 新大阪歯科技工士専門学校 専攻科 卒業

2003年 STF Dental Service 開業

2012年 株式会社 S.T.F Kyoto 設立

2020年 株式会社 S.T.F Tokyo 設立

2022年 株式会社 S.T.F Digital Transformation Center 設立

straumann 社 CARES Instructor CM 社

Pekkton Instructor

3shape社 LAB Ambassador

3shape 社 Global KOL

RAY Global Digital Dentistry Adviser

Imago Works Adviser & KOL

新大阪歯科技工士専門学校専攻科 非常勤講師